

基礎生化学 本試 (2014 年 7 月 24 日(木)実施)
出題傾向

※ 再現問題を作る余裕はありませんでした...

《中島先生範囲》 平均 62.7%

進級部にあがっている過去問と似たような感じで、同じ問題もありました。つまり、基本的なことしか問われず、普通に勉強すれば確実に取れます。

覚えている問題

- ・当てはまる物質名を 4 つ以上書け (ex)二糖類、飽和脂肪酸 etc
- ・脂質の消化吸収について(脂肪がつきにくい油がそうである理由も)(記述)
- ・ATP の産生過程について(記述)
- ・構造式を見て物質の名称を書け (ex)アラキドン酸、スフィンゴシン、スフィンゴミエリン etc
- ・生体反応においては活性化エネルギーとして熱を利用できないが、どのようにして反応を進めているか(記述)
- ・CO₂ 固定が見られる反応を 2 つ書け(記述)

《長岡先生範囲》 平均 57.5%

今年から問題の傾向が変わりました。より基本的なことになったため、以前の正誤問題と比べると易化したと思われますが、アミノ酸の構造式を覚えていなかった人は他の部分でほぼ満点を取れないと再試になっていました。

覚えている問題

- ・特徴に当てはまるアミノ酸の名称と構造式を書け(20 種類中のほぼ全て)
- ・反応式(構造式)を見て、物質名や酵素名を書け(穴埋め)
ex)アラニン、ALT、ピルビン酸、AST、アルギニン、尿素 etc ←?
↑「ALT」などの略語はやめるように試験中に言われた気がします
- ・ヘムの合成経路について(中間生成物や酵素や疾患の名前を穴埋め)
- ・DNA と RNA の同じ点と異なる点について(記述)
- ・単語の説明 (ex)ヒストンコード、定量 PCR 法、tRNA(?)
- ・定量 PCR 法と PCR 法の違いについて(記述)